

TOURISM SCOPE

E-book

Volume 28
2013

The Official Magazine of the Tourism Promotion Organization For Asia Pacific Cities

ISSN 1739-5089





Tourism Promotion Organization
for Asia Pacific Cities

Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities

アジア太平洋都市観光振興機構(以下、TPO)は、アジア・太平洋地域の都市のネットワーク化を図り、観光産業を発展させる目的で創設された国際観光機構です。現在、72の地方自治体と、観光産業関連協会、研究機関、観光地のマーケティング機関(DMO)など、34の民間団体が会員登録しており、観光産業の活性化に向けて、会員都市間の観光産業に関する情報交換や、観光商品開発、共同マーケティング事業、観光分野の教育及び人材育成事業などの活動を展開しながら、アジア・太平洋の都市観光開発に取り組んでいます。

ご購入は、TPO公式ホームページ <www.aptpo.org>でお申し込みいただけます。

Contents

- 03 CULTURE & TRAVEL**
カラフルフィリピン
マニラの魅力
 - 07 SPECIAL**
365日熱気に包まれた街!
マレーシア・クアラルンプール
 - 13 CITY THEME TOUR**
ヨーロッパの風情が残る街
港湾都市 青島
 - 17 CITY THEME TOUR**
2つのテーマで旅するバンコク
Classic and Modern Bangkok
 - 21 TREND & ANALYSIS**
自転車の上から見る風景
Round to the World!
 - 25 FESTIVAL CALENDAR**
 - 27 TPO NEWS**
 - 29 TPO INTERVIEW**
ロシア・イルクーツク
ヴィクトール・コンドラシェフ市長
-



カラフルフィリピン マニラの魅力

ラグジュアリーなホテルとスパで癒しの時間を過ごし、アジア有数の大型ショッピングモールでお買い物。夜は、高層ビルと南国の夜空が描き出す夜景を見たり、ナイトライフスポットでお酒を楽しんだりしながら、優雅なひとときを過ごす。エキゾチックな雰囲気を楽しみたいなら、ジープを走らせよう。すると、かつてのスペイン植民地時代の文化遺産を目にすることができる。バカンス、ショッピング、観光のすべてが堪能できるカラフルな都市、マニラは、すべてのトラベラーを満足させる街だ。



カラフルな マニラの昼と夜



様々な顔を持つマニラは、朝から晩まで、あちこち回ってこそ、その魅力を感じることが出来る街だ。勉強家の旅行者には、マルラテ地域にあるリサール公園の散歩がおすすめ。観光客より地元人が多く訪れる公園で、独立活動家の闘士、リサールが処刑されたところとして有名な場所だ。また、新市街地であるマカティ地域にあるフィリピン伝統図書館(Filipinas Heritage Library)や図書館周辺を散策するのもいいだろう。イントラムロス(Intramuros)は昼間に行くのがおすすめ。スペイン軍がフィリピン原住民からの攻撃を防御するために作った3.7キロにもおよぶ城壁で、438年前に建てられた独特の要塞だ。一部破損しているが、現在はスペインでもみられないような、中世スペインの伝統建築美が感じられる観光地だ。

ユネスコ世界文化遺産に指定されているサンアグスティン教会をはじめ、サンチャゴ要塞などをゆっくり見学するなら、徒歩より馬車を使うことをおすすめしたい。また、フィリピン本来の風景を垣間見たいなら、市場がおすすめ。市場といっても色々あるが、ティエンデシタス(Tiendesitas)はペットから薬剤、食べ物、アクセサリ、古家具まで、様々なものを扱っていて楽しい。ショッピングをして、グルメも楽しみたいなら、イーストウッドシティ(Eastwood City)を訪れてみよう。カジュアルレストランからラグジュアリーカフェ、現地の味が楽しめるローカル食堂、バー、クラブ、マルチプレックス映画館、雑貨ショップ、ファッションモールまでが一堂に会している。トレンドセッターには、イーストウッドシティG6ブロックにあるCIRCA

がおすすめ。優雅な気分を満喫したいなら、マニラベイへ行こう。セブ島やボラカイ島ほど、名の知られたリゾートではないが、景色が美しいことで有名。街灯がついた夕暮れ時に訪れ、CCPハーバースクエア周辺に並んでいるバーやレストランで、マニラの若者たちにまじってお酒を飲んだり、海岸に座って穏やかな海を眺めたりするのもいいだろう。またマニラベイからは遊覧船も出ているので、時間があれば乗船してみよう。街の散策を終えたら、地元の人がよく食べるという魚ステーキと、これまた地元スタイルの氷入りビール片手に、笑い声と音楽があふれるマニラの夜を心ゆくまで堪能したい。



東南アジア最大規模 モールオブアジア Mall of Asia

モールオブアジアは、延べ床面積38万6千平方メートルにもおよぶアジア最大のショッピングモール。4棟で構成されており、世界的に有名なブランドショップ、フードコート、アイスリンク、IMAX映画館など、様々な文化施設が備わっている。夕方になると、マニラベイを真っ赤に染める幻想的な夕日が鑑賞できるスポットとしても人気だ。

住所 J.W. Diokno Boulevard, Mall of Asia Complex CBP - 1A Pasay 1300 電話 63-2-556-0680 ホームページ www.smmallofasia.com



楽しいことが目白押しのマニラ

マニラは、ボラカイ島へ行く際の経由地で、特に何も無い街だと思っている旅行者も多いというが、意外にも見どころはたくさんある。有名観光地であるパクスアンハンやヒーデンバレー以外にも多々あるマニラの魅力的なスポットを一挙ご紹介。

マニラの中世都市

イントラムロス Intramuros

高層ビルが林立するフィリピンの首都マニラ最古の地区、イントラムロスは、16世紀にスペイン人たちによって作られた街だ。中世スペイン建築様式の城壁や要塞、教会などが、現在も大切に保管されている。サンチャゴ要塞、カーサマニラ、マニラ大聖堂などが位置するほか、フィリピンの英雄であるリサールをはじめ、多くの独立活動家が処刑された場所でもある。

交通 LRT-1 セントラルターミナル駅下車



夢幻的な夕景 マニラベイ Manila Bay

心地よい海風を感じながら海岸を散歩したり、南国の真っ赤な夕日を眺めたりするなら、マニラベイがおすすめ。散歩道のあちこちでは、ストリートミュージシャンが楽しげに演奏しているので、公演を聞きながら、フィリピンビール、サンミゲルを味わうのもいいだろう。海と都市が交わる夕景を満喫したいなら、サンセットクルーズに乗船しよう。

住所 Roxas Boulevard, Manila



モダンフィリピンを満喫

アヤラ博物館 Ayala Museum

アヤラ博物館は、現代美術展示、伝統陶磁展示、イベント企画展示が鑑賞できるミュージアム。フィリピンで今、一番脚光を浴びている現代美術アーティストの作品展示が行われているほか、フィリピンの歴史が一目でわかる、精巧なミニチュアのジオラマ展示もなされている。館内は写真撮影禁止なので注意しよう。

ホームページ www.ayalamuseum.org



本と緑が感じられる場所

フィリピンヘリテージ図書館 Filipinas

Heritage Library

1937年にアメリカが建てた空港建物を、フィリピン学究派のために改築して図書館にしたのがここ。見かけは素朴だが、2万冊以上におよぶフィリピンの歴史書があるほか、多種多様な現代書籍、オーディオ、ビデオなどのマルチメディア資料なども所蔵している。館内では学術会議が開かれる施設があるほか、託児所も完備。敷地は緑あふれる庭園に続いており、散策を楽しむこともできる。

電話 63-2-892-1801 ホームページ www.filipinaslibrary.org



きらびやかな遺産が鑑賞できる博物館 マラカニアン博物館 Malakanang Museum

独立してから2009年まで、歴代フィリピン大統領13名の記録が展示されている博物館。入館の際は、空港のイミグレーションを連想させるような厳重な手続きを踏まなければならないが、ひとまず中に入ると、歴代大統領の書斎や、マルコスの肖像画、イメルダのピンクの靴といった展示を自由に見ることができる。中世スペイン風の高級なインテリアときらびやかな遺物の数々は圧巻。なお、展示物の中には、韓国の金大中前大統領の直筆サインが入った書籍もある。

開館時間 月～金曜日09:00～11:30、13:00～15:00 住所 Manila JP Laurel St. San Miguel 電話 63-2-733-3721



熱気あふれるストリート イーストウッドシティ

Eastwood City

フィリピンのイベントを鑑賞したいならイーストウッドシティを訪れよう。熱気あふれるライブ公演が行われている噴水広場の周辺には、マルチプレックス映画館やバー、レストラン、クラブ、ショッピングモールなどが軒を連ねている。

住所 E. Rodriguez Jr Ave., Libis Quezon City ホームページ www.eastwoodcity.com



都市上のクルーズリゾートワールドマニラ Malakanang Museum

フィリピン初、年中24時間運営のインテグレイテッドリゾート。この魅力は、最高級ホテルからビジネスホテル、リーズナブルなバジェットホテルまで、すべての観光客が利用できるよう、様々なクラスのホテルが運営されている点だ。最新式エンターテインメント施設があり、ワールドクラスの公演や、超大型カジノも楽しむことができる。マニラメトロシティの中心、ニューポートシティ(Newport City)に位置しており、アクセスも便利。

ホームページ www.rwmanila.com



フィリピンの伝統市場ツアー ティエンデシータス Tiendesitas

ハンディクラフト、ファッション、アクセサリ、アンティーク、ガーデニング、ペットなどを扱うショップが並んだ市場。掘り出し物も多いので、ゆっくり散策したい。なお、ペット売り場付近は動物のおいがするので、苦手な人は注意。

営業時間 12:00～24:00 住所 Frontera Verde, Ortinas Avenue cotner CS, Baragay Ugong, Pasig City



365日熱気に包まれた街!

クアラルンプール

アジアの多種多様な宗教や文化、トレンドが交差し、まるで365日お祭りのような雰囲気醸し出している都市、クアラルンプール。ショッピングセンターが多く、ショッピングのスペシャリストたちからは買い物天国として知られている。ショッピングはもちろんのこと、都市観光や歴史散策、グルメも楽しみながら、この街の魅力に浸りたい。



Shopping Hot Place

For luxury

セレブな雰囲気を楽しむ スターヒルギャラリー Starhill Gallery

パビリオンの向い側に位置するスターヒルギャラリーは、ルイヴィトンやグッチ、ラルフローレンなどのブランドショップが数多く入店している高級ショッピングセンター。ショッピングをしなくても、最新ブランドのトレンドやマレーシア上流階級のライフスタイルが垣間見られるので、興味があれば訪れよう。地下には、約60種類のティーセットメニューが用意されているティーサロンがある。優雅な雰囲気なので、休憩の際におすすめ。ティーセットの値段は18〜35リンギット(税別)。

住所 Starhill Gallery 181 Jalan Bukit Bintang 55100 Kuala Lumpur 電話 03-2782-3855 営業時間 10:00-22:00 ホームページ: www.starhillgallery.com



色んな楽しみ方ができる スポット スリアKLCC Suria KLCC

クアラルンプールのランドマーク、ペトロナスツインタワーにあるスリアKLCCは、伊勢丹やバークソンなどの高級デパートや、フードコート、映画館、アクアリウムなどが入った世界有数の複合ショッピングセンター。高級ショップのほかに、MANGOのようなSPAグローバルブランドも入店しており、セール期間中は20〜70%引きになることも。また、ファッションに人気のイギリスブランド、ミスセルフリッジ(Miss Selfridge)、ウェアハウス(Warehouse)、ドロシーパーキンス(Dorothy Perkins)なども、通常9675円のTシャツがセール中は967円程で買えるとか。掘り出し物も多いので、ショッピングに半日は費やしたい。

住所 Lot. No. 241 Level 2 Suria KLCC Kuala Lumpur City Centre 50088 Kuala Lumpur 電話 03-2382-8448 営業時間 10:00-22:00 ホームページ www.suriaklcc.com.my



有名ブランドが破格的な値段で買える パビリオン Pavilion

高級ホテル、ショッピングアーケード、カクテルが飲めるおしゃれなレストランバー、映画館などが立ち並び、ブキッ・ピンタン。24時間いつでも楽しむことができるクアラルンプールの中心地だ。交差点を基点として、ブキッ・ピンタン通りを東に行くと、ロテンショッピングセンターやパビリオンモールがあり、西に行くと、ブキッ・ピンタンプラザがある。これらのモールに入っている店の数は何と450店舗にもおよぶ。中でも、ロテンショッピングセンターとパビリオンモールは高級店が多数入店しており、セール期間中には、半額の商品が出ることも。ショッピング中におなかがいっぱいしたら、1階にフードコートへ行こう。5〜10リンギットとリーズナブルな上、メニューの種類が豊富なので、おすすめ。

住所 168 Jalan Bukit Bintang 55100 Kuala Lumpur 電話 03-2118-8833 営業時間 10:00-22:00 ホームページ www.pavilion-kl.com

SHOPPING TIP

ブキッ・ピンタンロードとスリアKLCCの間

クアラルンプールのショッピングブレイスは、ペトロナスツインタワーがあるスリアKLCCエリアとパビリオンやスターヒルギャラリーがあるブキッ・ピンタンエリアに分かれる。この2エリアは、KLCC-Bukit Bintang Pedestrian Walkwayという空中通路でつながっており、所要時間は徒歩10分程度。エアコンもきいているので、移動は快適。



活気あふれるモール

スンガイ・ワンプラザ Sungei Wang Plaza & ロット10 Lot10

ブランド品が並んだ華やかなショッピングモールもしいが、地元の人たちが普段行くようなショッピングモールを散策するのも面白いものだ。ブキッ・ピンタン交差点にあるスンガイ・ワンプラザはリーズナブルなローカルブランドを中心に扱う、30年の歴史を持つショッピングモール。服、アクセサリ、電化製品、生活用品など、扱う商品は種類豊富で、モール内は、小さな店がずらりと軒を連ねる。タワーショップや映画館、インターネットカフェ、エステサロンなどもあり、ショッピング以外にも色んな楽しみ方できるので、いつも多くの人でにぎわっており、足の踏み場がないほど。また、スンガイ・ワンプラザとブキッ・ピンタンモノレール駅通路に連結されているロット10もおすすめ。伊勢丹が入店しているほか、色んなメニューが楽しめるフードコートもあるので、食事には困らない。スンガイ・ワンプラザと同じようにローカルブランドやリーズナブルな商品も多く扱っている。

住所 Lower Basement One Sungei Wang Plaza SWP Box No. 009 Jalan Bukit Bintang 55100 Kuala Lumpur
電話 03-2148-6109 営業時間 10:00~22:00 ホームページ www.sungeiwang.com



Bazaar

マレーシアの中の中国 チャイナタウン Chinatown

マレーシアは中国から渡ってきた華僑が全国民の約25%を占める国だ。そのため、全国各地に中国系マレーシア人が住んでおり、中国の名節や文化も流入している。チャイナタウンには、陳家祠堂や中国大会堂、観音寺などがあるほか、中国の衣類や雑貨を売る店、屋台、レストランも立ち並んでいる。セントラルマーケットから徒歩で10分程の距離にあるので、興味があれば立ち寄ってみよう。なお、散策のお供には、3リンギットのトロピカルフルーツがおすすめ。

行き方 セントラルマーケットからバサル・スニ(Pasar Seni) 駅方面へ、線路に沿って10分ほど歩くと、左手にチャイナタウンの入口がある



マレーシアの伝統にふれる セントラルマーケット Central Market

Market

クアラルンプールの西南に位置するセントラルマーケットは、ブキッ・ピンタンストリートからタクシーに乗って、約15分の距離にあるショッピングモールだ。タクシー代は10リンギット程度。エントランスを入ると、マレーシアの特産物である錫製品をはじめ、木工芸品、宝石、伝統衣装、骨董品などを扱う店がずらりと並んでいる。土産物になりそうなものもたくさんあるので、くまなく見てまわろう。週末には民族舞踊公演も開催される。

住所 Jalan Hang Kasturi 50050 Kuala Lumpur 電話 03-2274-6542 営業時間 10:00~22:00



Attraction

空中に架かった橋ともいべきスカイブリッジから見下ろすクアラルンプールの景色は、絶景そのものなので、ぜひ訪れよう。また、セントラルマーケット前にあるムルデカ広場や、独特の外観をしている国立モスクもぜひ立ち寄りたい。

ペトロナスツインタワー Petronas Twin Towers

世界最大級の超高層ツインビル。88階建てで、高さは452メートルにもおよぶ。マレーシアの国立石油会社ペトロナスによって建築された。2本のタワーを結ぶ連絡橋であるスカイブリッジ(Sky Bridge)は、クアラルンプール市内がひと目で見下ろせる絶景スポットだ。近年、86階の展望台が一般人にも公開されるようになったため、スカイブリッジよりもさらに高い場所からクアラルンプールが眺められるようになった。ペトロナスツインタワーのスカイブリッジと展望台の入場券は、チケットカウンターにて、午前8時30分から購入可能。1日の入場者数が限定されているので、希望の時間に入場したい場合は、午前の早い時間に入場券を購入しておいたほうがいい。

入場料 大人80リンギット、満12歳以下は30リンギット ホームページ www.petronatwintowers.com.my



都会の休憩場

ムルデカ広場 Dataran Merdeka

セントラルマーケットから徒歩5分の距離にあるムルデカ広場は、広さ8.2ヘクタールにおよぶ美しい公園。1957年8月31日午前0時に、この場に掲げられていた英国のユニオンジャックが降ろされ、代わって高さ100メートルの国旗が掲揚された歴史的に重要な場所だ。広場の一角に噴水や水飲み場があるほか、美しいマリーゴールドや百日草が咲き乱れる庭園もある。また、プラブラザ(Plaza Putra)もすぐ近くに位置。

住所 Merdeka Square 57000 Kuala Lumpur

回教寺院

国立モスク National Mosque

セントラルマーケットやチャイナタウンを訪れたら、近くにある国立モスクまで足をのびしてみよう。国立モスクは、1965年に完成した、東南アジア最大級のモスクで、幾何学形状の青い屋根、礼拝時刻の告知に使われる高さ73メートルの塔、ミナレットなどが見どころ。8000人を収容できる礼拝堂があるほか、図書館や国の独立に貢献した人々の霊廟なども併設されている。男女問わず入場できるが、見学の際、女性はスカーフと上着が貸し出され、着用しなければならない。なお、交通の便がよくないので、セントラルマーケットやチャイナタウンから、タクシーで行くのがおすすめ。

住所 Jalan Lembbah Perdana 50480 Kuala Lumpur
営業時間 10:00~12:00、15:00~16:00、17:30~18:30
金曜日 15:00~16:00、17:30~18:30 (年中無休) 入場料 無料 ホームページ www.masjidnegara.gov.my



優雅な光

スルタンアブドゥルサマドビル Sultan Abdul Samad Building

ムルデカ広場のすぐそばにあるスルタンアブドゥルサマドビルは、イギリス植民地時代の1897年に建てられた建造物で、現在はマレーシア最高裁判所と繊維博物館として使用されている。赤銅色のドームを持つ高さ約41.2メートルの時計台や、アーチが連なる柱廊などは、撮影スポットとしても人気。また、新年や独立記念日、ムルデカデーなどの際は、アーチがライティングされる。

位置 ムルデカ広場付近

Choice for gourmet

マレーシアは、アジア各国の料理が食べられる街として有名。各種香辛料を使用して調理されるマレーシア伝統料理は、舌が肥えた美食家をもうならせる美味しさなので、滞在中、一回は挑戦してみよう。

高級飲茶を楽しむ ノホテル・クインゼン

Novotel Qing Zhen

クアラルンプールのブキッ・ビンタンストリートに位置するノホテルのクインゼンは、高級中華料理が味わえるレストラン。高級といっても、コース料理が数千円程でいただけるため、旅行者に人気を博している。様々なメニューがあるが、中でも飲茶が有名で、その種類は数十にも及ぶ。12時から午後2時30分まで、飲茶バイキングイベントが開催されるので、マレーシアで中華料理を堪能したい旅行者はチェックしておこう。

住所 2 Jalan Kia Peng 50450 Kuala Lumpur 電話 03-2147-0888 営業時間 Lunch 12:00~14:30、Dinner 18:30~22:00 ホームページ www.novotelkcitycentre.com



野外テラスで楽しむ伝統公演 ソケットレストラン Songket

Restaurant

クアラルンプールのペトロナスツインタワーから徒歩10分の距離にあるソケットレストランは、マレーの味を守りながらも、外国人の舌に合うよう調理された料理が食べられるところ。エアコンがきいた室内席と野外テラス席に分かれており、野外テラスでは、毎晩8時30分からマレーシア少数民族による伝統公演が行われる。公演を鑑賞しながら、牛肉や鶏肉の串料理サテー(Satay)をはじめ、マレー式ショートリブ炭火焼 (Rusuk Panggang)や、スズキの甘酢和えであるイカンシアカップ・マサム、マニス(Ikan Siakap Masam Manis)といったマレーシア料理を堪能したい。なお、店名のソケットとは、鮮やかなシルク地に金や銀の糸を織り込んだマレーシア布のこと。マレー一家屋を再現したレストランのエントランスにも、美しいソケットが展示されている。

住所 No. 29 Jalan Yap Kwan Seng 50450 Kuala Lumpur 電話 03-2161-3331 営業時間 月曜~金曜日 12:00~15:00、18:00~23:00 土~日曜日 17:00~23:00 ホームページ www.songketrestaurant.com



伝統北インド料理 ベナレス Benares

ブキッ・ビンタンストリートにあるビジネスホテル、パークロイヤル1階に位置するベナレスは、北インド料理が食べられるレストラン。高級な雰囲気だが、タンドリーチキンをはじめ、インド式炒飯のピリヤニ、ナン、海老やロブスターといった魚介類をふんだんに使った各種インド料理が手頃な値段で味わえる。また、インド人シェフご自慢のカレーも本場さながらの味だ。

住所 Jalan Sultan Ismail 50520 Kuala Lumpur 電話 03-2782-8305 営業時間 11:00~23:00 ホームページ www.parkroyalhotels.com



Hotel Comparison

思う存分ショッピングを楽しむためには、その拠点となるホテルを慎重に選びたい。クアラルンプールがショッピング天国として知られる理由のひとつは、ショッピングモールの近くに数々のホテルがあるからだ。中でも、グランドミレニアムとノボテルシティセンターは、クアラルンプールのショッピング街として知られるブキッ・ビンタンエリアに位置しており、ショッピング客の拠点として人気を博している。



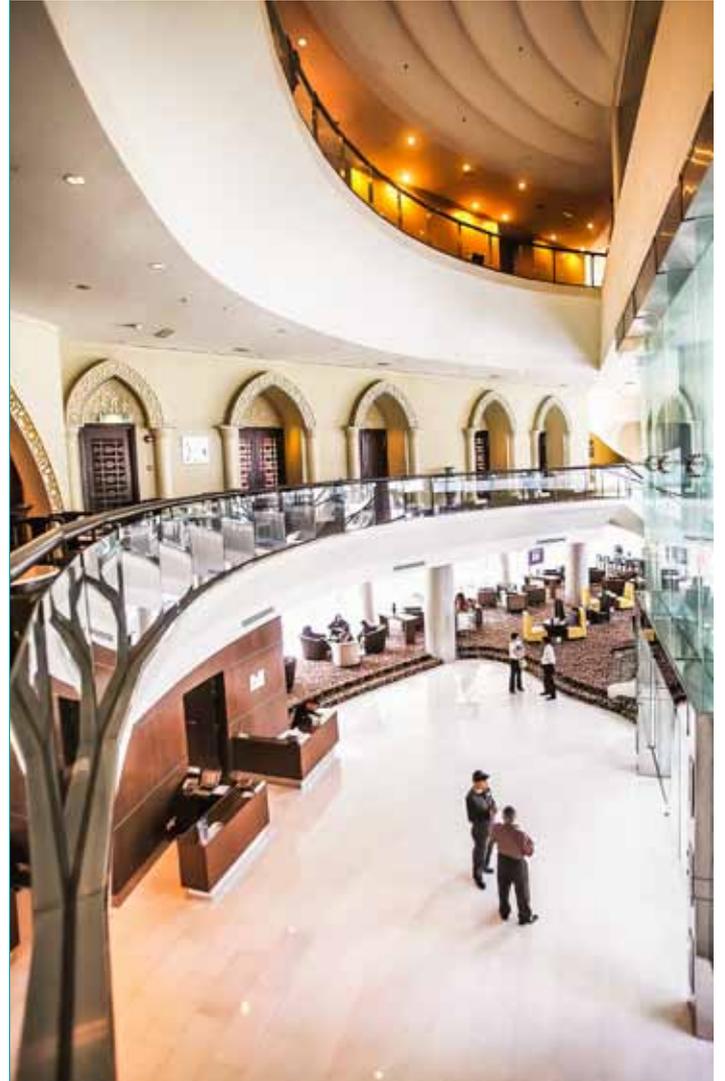
モダンで華やかな雰囲気 グランドミレニアム

Grand Millennium

5つ星ホテル特有の高級感があふれているグランドミレニアムホテルは、ブキッ・ビンタンストリートの中でも、特に人気

があるパビリオンとスターヒルギャラリーのそばに位置しており、ショッピング客には最高の立地だ。リノベーションを終えたばかりの客室は、広く、上質なインテリアでまとめられているので、リラックスしたひとときを過ごすことができる。ホテル向かい側のブキッ・ビンタンショッピングストリートが眺められる客室に宿泊したい場合は、予約の際に申し出ること。なお、客室内には無料Wi-Fiが飛んでいる。

住所 160 Jalan Bukit Bintang, 55100 Kuala Lumpur 電話 03-2117-4888



節約家おすすめのホテル ノボテルシティセンター

Novotel City Centre

クアラルンプールへショッピングに訪れる人のうち、ホテル代は節約したいという旅行者に人気なのが、4つ星ホテルのノボテルシティセンターだ。施設がきれいで、実用的なのが特徴。団体旅行者よりも、一人旅や個人旅行者の利用が多い。グランドミレニアムと比べると、パビリオン、スターヒルギャラリーなどが密集しているショッピング中心部から離れているが、パビリオンに連結しているエスカレーターが設置されている。スリアKLCCがあるペトロナスツインタワーには、グランドミレニアムに比べると近い。こちらも客室には無料wifiが飛んでいる。

住所 2 Jalan Kia Peng Kuala Lumpur 電話 03-2147-0888



NIGHTSPOT

マレーシアの夜を堪能 ルナバー Luna Bar

パシフィックリージェンシーホテルのルナバーは、ラグジュアリーな雰囲気が漂うナイトスポット。店内は、プールサイドバー、アッパーデッキ、シャンパンバーの3エリアに分かれている。ライトアップされたプールサイドバーからはクアラルンプールタワーやKLCCが見渡せるので、ロマンチックな雰囲気を演出したい時におすすめ。また、店内には、DJブースもあり、フロアで踊ることもできる。男性は半ズボンやTシャツでの立ち入りが禁止されているので、ドレスコードを守って入店しよう。

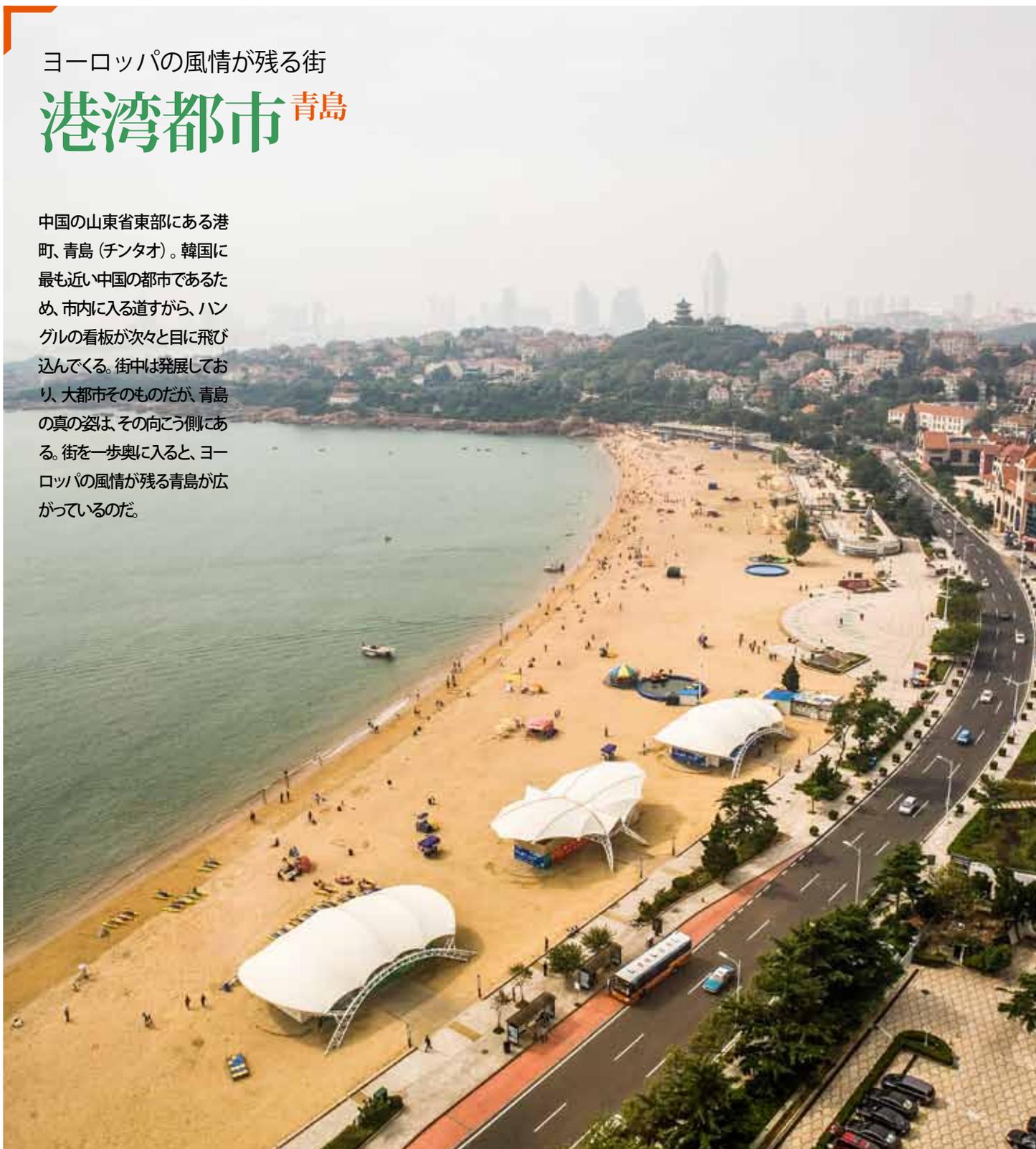
住所 KH Tower Jalan Punchak Off Jalan P.Ramlee, 50250 Kuala Lumpur 電話 03-2332-7777 営業時間 月~木曜日17:00~01:00、金~土曜日17:00~03:00 ホームページ www.luna.my



ヨーロッパの風情が残る街

港湾都市 青島

中国の山東省東部にある港町、青島（チンタオ）。韓国に最も近い中国の都市であるため、市内に入る道すがら、ハンゲルの看板が次々と目に飛び込んでくる。街中は発展しており、大都市そのものだが、青島の真の姿は、その向こう側にある。街を一步奥に入ると、ヨーロッパの風情が残る青島が広がっているのだ。



Old & New

かつて貧しい漁村だった青島は、1898年にドイツの租借地となり、ヨーロッパの影響を受けながら、驚くほどの急発展を遂げた街だ。散策するのなら、赤い屋根のドイツ洋館や近代建築物が多い旧市街地が、見どころが多くておすすめ。街路樹が立ち並び、情感あふれる路地裏もあるので、歩いているだけで楽しい。あちらこちらに食堂や屋台、ショップもあるので立ち寄ってみよう。



迎賓館

典型的なドイツ風の建物である迎賓館は、元ドイツ総督官邸として建てられたもの。総督楼もしくは提督楼と呼ばれ、ドイツの著名な建築家によって設計され、1903年に着工、1908年に竣工した。建築全体は石造りで、内装は絢爛豪華そのもの。台所、会議室、ダンスホール、食堂、寝室などのほか、噴水や水槽も飾られている。また、1957年に拡張工事が行われ、美しい庭園も造られた。迎賓館は、青島に現存する代表的なドイツ古城式建築で、建物とともに、当時を偲ばれる絢爛な内部装飾は歴史的、文化的に貴重な史料とされている。

住所 山東省青島市 龍山路24号 電話 0532-8288-9888
入場料 4~10月15元、11~3月10元



最高のビューポイント 小魚山公園

かつて漁師が小魚を干していた場所であったことから、その名がついたといわれる小魚山公園は、青島の小高い丘に位置する公園。規模は小さいが、公園内には、挑檐式三層八角構造の覽潮閣をはじめ、壁画廊、碧波亭、展望台などが建つ。閣楼に登ると、美しい松林の海岸線や、赤瓦の家々が立つ市内の町並みを眺めることができる。また公園入り口からはきれいな小道が頂上まで続き、途中、ドイツ風の家の模型や水彩画が売られている。今でこそ、静かでのんびりした雰囲気のパークだが、園内には、ドイツ軍が中国政府に対抗して、砲台を置いた跡も残っており、青島の歴史が感じられる場所でもある。

住所 市南区福山支路24号 電話 86-532-8286-5645 開館時間 冬季 08:00~17:00 夏季07:30~17:30 入場料 15元



海に面した公園 五四広場

五四広場は、1990年代、青島にビジネス街を新たに造成した際、造られた海浜公園。広場の名前は、五四運動を記念して名づけられた。広場南の海側に、「5月の風」という名の赤い巨大なモニュメントが立ち、広場のシンボルになっている。広場の東部には高層ビルが立ち並ぶ青島の新商業圏が、北側は青島市政府がある。広場は観光客のみならず、地元の人も多く、それぞれ思い思いに過ごしている。海岸に沿って、フェイクパールや貝を使ったアクセサリーを売るショップが軒を連ねているほか、その後方には、1泊300元程で泊まれる洋館のペンションも建っている。なお、五四広場の海面は、北京オリンピックの際、ヨットレースの競技場になったところだ。

黄海を遊覧

五四広場前の海岸沿いを歩いていくと、埠頭が見え、その向こうに遊覧船乗り場がある。崂山ヨット競技場マリーナ行き、銀海国際ヨットクラブ行き、近海の島行きなど、主要な浜や島を巡る8つの遊覧コースが用意されている。

電話 86-532-8389-9066 料金 ルートによって異なるが30~100元程度





海に向かって散歩 海岸散策と八大関

浜辺を散歩するのは、青島旅行の醍醐味のひとつだ。40.6キロにおよぶ海岸散歩道があり、ビーチや公園、栈橋、石老人ホテルなどに立ち寄りながら、のんびり歩くことができる。歩道はウッドデッキになっているほか、ところどころにベンチや照明、案内板なども備わっていて、散策しやすい。海岸散歩道から第3浜辺に入ると、万国建築博物館と呼ばれる八大関エリアに着く。万国建築博物館とは、ヨーロッパ24カ国の建物約300が混在して建ち並んでいるところ。中でも、最も有名な建築物は、蒋介石が別荘として使っていた花石楼だ。周囲は木々に覆われていて、エキゾチックな雰囲気を出している。

きりっとしたビールの味 青島ビール博物館

青島といえば、多くの人が、まず青島ビールを思い浮かべるだろう。ドイツの技術と、ミネラルをたっぷり含んだ青島の水で造るその味は、東洋西洋問わず、多くの人に愛されている。赤レンガ、丸いアーチ、格子窓が印象的な青島ビール博物館は、もともとビール工場があった場所。館内は、100年の歴史を誇る青島ビールを、目で、鼻で、耳で、そして味覚で体験できるよう、様々な展示がなされている。まずは100年の歴史に関する展示物ざっと見直し、次に製造工程展示室へ。ここでは、醸造に使われる巨大な機械などを実際に見ることができ。すべての展示物を見たら、お待ちかねの青島ビール試飲コーナーへ。様々な種類の青島ビールを飲み比べてみよう。展示物が多く、じっくり見て回ると1時間半ほど要する。

住所：山東省青島市市北区登州路56号 電話 86-532-8383-3437 営業時間 08:30~16:30 ホームページ www.tsingtaomuseum.com



最初の埠頭 栈橋

1891年に造られた青島最初の埠頭であり、青島を代表する観光スポット。海に向かって栈橋を歩いていくと、440メートル先のところに、回瀾閣という八角亭が建っている。24本の漆紅円形の亭柱が備わった回瀾閣は、2階がガラス窓になっており、青島湾の大海原と旧市街の街並みが一望できる。その景色はまさに絶景で、青島七景のひとつにも数えられるほど。栈橋の両側は干潟になっており、貝や小海老などが取れる。干潮時は地元の人が潮干狩りをする、ほのぼのとした光景を見ることがもできる。

住所 山東省青島市太平路2号 電話 0532-8288-4548 入場料 栈橋公園は無料



青島でショッピング

台東

台東ストリートは、ブティック、レストラン、カフェ、古い、ヘアショップ、薬局などが軒を連ねた青島一のショッピング街。夜から店を開けるところも多いので、夜遊びスポットとしても人気だ。大型ショッピングモールも集まっているが、ショッピングが目的でないなら、路面店が並んだ街を散策するのがおすすめ。風変わりなディスプレイをしたショップがあったり、懸命に呼び込みをする店員がいたり、歩いているだけで、台東ならではの雰囲気味わえる。

ショッピングモール | お菓子などの食品品やちょっとした土産物を買うなら佳世客へ行こう。佳世客とはジャスコのことで、日本同様、食品をはじめ、衣類、雑貨などを扱っている。また、フードコートもある。

住所 山東省青島市香港中路72号 電話 86-532-8571-9630

ハイエンド | 青島新市街地の中心ストリート香港中路は、銀行やホテル、企業などが並ぶオフィス街。その中に青島で最も高級なデパートとして知られる陽光百貨店がある。規模はそれほど大きくはないが、優雅で高級なショッピング空間になっている。

住所 山東省青島市太平路38号 電話 86-532-8667-7166

青島ビールのおすすめ

初めて青島ビールが製造された当時は、特権階級のためのものだったが、現在では、世界中の人々から愛されるブランドとなった青島ビール。輸出する国によってパッケージを変えたり、味や香りが異なる新商品が発売されたりと、今では、その種類は約150にもおよぶ。体にいい成分を含有するほか、飲むと長生きするといわれる青島の鉱泉水を使用、さらには100日間におよぶ自然熟成させ、完成する青島ビール。せっかく青島に来たのなら、旅行中、色んな青島ビールを味わいたい。



青島ラガー Tsingtao Lager

さわやかでやや甘く、ふわっとしたモルトの香りが特徴の、青島ビールの代表格。青島ビール醸造場で発酵させた酵母と、厳選した材料だけを使用して造っている。やや辛口なので、味の濃い食べ物とよく合う。

青島純生ビール Tsingtao Draft

世界的な技術を駆使して造られた生ビール。酵母の発効過程で発生する細菌を最小限に抑えているほか、低温ろ過工法により、固有の純粋な味わいを実現している。軽いののにきりとした飲みごたえで、どんな料理ともよく合う。

フアンドングスポーツビール Tsingtao Huandong

2008年北京オリンピック開催時、20代前半の若者をターゲットに発売されたビール。高エネルギー、低カロリーのファッショナブルなビール、がコンセプト。ラガーに比べると炭水化物は半分、糖分も30%程度。タウリンや亜鉛などが疲れを取り除いてくれるため、飲むとすっきりした気分になる。

スタウトビール Tsingtao Stout

香味豊かなビールを飲みたい人には青島黒ビールがおすすめ!麦芽中の糖分をカaramel化しているため、深い味わいとわずかな甘さを感じられる。ビタミン含有量も豊富だとか。

ノンアルコールビール Alcohol-Free

お酒が飲めない人や健康のためにお酒を絶っている人は、ノンアルコールの青島ビールがおすすめ。青島ビール同様、この地域で栽培したホップと良質の麦、ロウ山の鉱泉水を使用して造っている。アルコールが入っていない分、低カロリーで栄養も豊富。



青島ビールの素 ロウ山

青島市内から車で30~40分の距離にあるロウ山は、奇岩怪石の黑色花崗岩でできた岩山。高さ1133メートルで、海岸線にある山では一番高く名山として知られている。宋の時代から道教の聖地として知られるようになり、山中には、たくさんの道教寺院がある。太清宮、上清宮、明霞洞などの道教寺院のほか、龍潭滝や眺望のすばらしいポイントなど見どころが多く、観光だけでなく、ハイキングなどで人気を集めている。麓から中腹の上清宮まで登ることができるリフトがあるため、青島からの1日観光も可能だ。また、ここは、始皇帝が不老長生の薬を持ちかえるよう、使節を派遣したといわれている、泉水が有名なところ。青島ビールもこの水が使われている。

住所 青島市 山区梅 路29号 電話 86-532-8889-8866 ホームページ www.qdlaoshan.cn



ビールを楽しむナイトライフ

青島には、バー密集地が旧市街地と新市街地にそれぞれいくつかある。ビール博物館のすぐそばのストリートもそのひとつ。中には行列ができるバーもあるほど。昼間は閑散としているが、夕方になると地元の人たちや旅行者がどこからともなく集まってきて、青島ビールを飲みながら、思い思いの楽しい時間を過ごす。青島は海に面しているとあり、海産物が豊富。ビールを飲む時にぜひ注文したいのが貝だ。市場へ行くと、青島ビールのつまみとして貝の炒め物が出てくる。珍味なので、ぜひ味わってみて。



2つのテーマで旅するバンコク

Classic and Modern Bangkok

忙しい日常に疲れた旅行者に癒しと活力を与えてくれる街、バンコク。朝から晩まで観光地を巡るもよし、バックパッカーが集まるストリートで、一日のんびりするもよし、旅行者の思いのままに過ごすことができるのが、この街最大の特長だ。また、タイ料理からスイーツまで、グルメスポットが目白押しなのうれしい。様々な過ごし方ができるバンコクを、今回は、クラシックとモダンというテーマに分けて、紹介してみたい。



Classic

何度訪れても飽きない街

バンコクは、ツアーにパッケージされているような設備の良いシティホテルから、バックパッカー御用達の安宿まで、色んな宿泊施設がある。また、グルメスポットもおしゃれなレストランから屋台まで、実にさまざま。一人で来ても、誰かと一緒でも、その時々でのシチュエーションに合わせて楽しむことができる魅力的な街だ。まずは、初心者向けに、ストリート、グルメ、ショッピングなど、バンコクの定番観光地を紹介しよう。



バックパッカーたちの聖地 カオサンロード Khao San Road

カオサンロードは、バンコクのプラナコーン区バンランブーにある道の名称。300メートルほどあるメインストリートには、バックパッカー向けの格安ホテルやゲストハウスが軒を連ねるほか、レストラン、インターネットカフェ、旅行代理店、古本屋、ランドリー、衣料品店、みやげ物店など、旅行者向けのショップがずらりと並ぶ。左右に伸びる路地にも隠れ家的な店が多いので、時間あれば隅々まで散策してみよう。バーなどが開店する夜も楽しいが、昼間ものんびりした雰囲気が漂っていて、ぼんやり過ごすには最適。小腹が空いたら、50バーツで売っている屋台のパットタイ(Patthai: ニラやもやしなどがはいったタイ風焼きそば)を食べよう。ドリンクバーでトロピカルフルーツジュースを注文するのもお忘れなく。また、歩き疲れた旅行者には、即席足マッサージもおすすめだ。

交通 BTSは通っていないので、タクシーを利用しよう。車が渋滞するスクムウィット通りから高速道路に乗ると、20分程で着く。**料金は**150~200バーツ

華やかで雄大な歴史の空間

王宮 The Grand Palace & Wat Pho

何度訪れても、見応えがあるバンコクを代表する観光地。総面積21万8000平方メートル、垣根周り1900メートルを誇る壮大な建物で、バンコクが首都になった1782年に着工された。近くには、黄金に輝く巨大な涅槃仏(高さ15メートル、長さ40メートル)



のワットポーもあり、旅行者の必須観光スポットになっている。王宮とワットポーは2か所とも、短パン、ミニスカートでの入場は不可なので、注意しよう。

交通 チャオプラヤー川の西側に位置。周辺にBTS駅がないのでタクシーを利用しよう。タクシー運転手には「グランドパレス」と言っても伝わらないことが多いので、「パイワットプラケオ」というタイ語を覚えておくべし。**電話** 02-623-5500 **開館時間** 08:30~16:30(チケット購入は15:30まで) **入場料** 王宮500バーツ、ワットポー200バーツ



無料でムエタイを観覧

チャンネル7スタジアム Channel Seven Stadium

ムエタイは1000年の歴史を持つタイの格闘技。普段から格闘技に興味がある人なら、一度は目の前で競技を観戦してみたいものだろう。しかし、ムエタイを観戦できるのは週末のみ。しかも、入場料も決して安くはない。バンコク旅行中に、ムエタイを観戦したいが、チケット代が高額で負担になるという人は、無料のイベント競技もあるので、スケジュールをよくチェックしてみよう。

交通 BTSモーチット(Mo Chit)駅下車後、タクシーでチャンネル7スタジアムまで。所要時間5分。タクシー料金は約50バーツ

More Info

ルンビニー・スタジアムとラジャダムナン・スタジアムでは、週末にムエタイ競技が開かれる。外国旅行者はリングサイド席に限り購入可能の場合がほとんどで、価格は2000バーツ。非常に高価なので、観戦をあきらめる旅行者も多い。そこで、ムエタイを見たいが、高いチケット代は払えないという観光客におすすめしたいのが、毎週日曜日の午後1時に開催される、無料ムエタイ競技だ。チャンネル7放送局スタジアムで午後1時30分から6試合にわたって行われる。入場は無料で、外国人旅行者のための座席もある。

Modern

スタイリッシュ バンコクのセレブエリア

トンロー通りは、厳密に言うとスクンビットロードに含まれるが、トンローまたはエマカイエリアと呼ばれており、英語でも'Thong Lo'または'Thonglor'と表記される。世界有数の自動車会社のショールームを彷彿とさせる代理店から、おしゃれなセレクトショップ、華やかな総合ショッピングモールまで、洗練された店が多く、タイの芸能人やセレブたちが行き交うエリアだ。トンロー通りの魅力は、タイ料理はもとより、和食やフレンチ、イタリアンなど、世界中の料理が食べられること。また、ランチが楽しめるおしゃれなカフェレストランやワインバーもあり、トレンドに敏感な地元の人や旅行者に人気!

バンコクのニューホットプレイス

トンロー Thong Lo

バンコクの繁華街といえば、BTSのナナ(Nana)駅、アソーク(Asok)駅、プロンボン(Phrom Phong)駅周辺のスクンビット通りが有名だ。数多くのデパートや高級レストラン、5つ星ホテルなどが軒を連ねるほか、アソーク駅近隣には、巨大総合ショッピングモールのターミナル21があったり、韓国料理店が多数入ったスクンビットプラザがあったりと、見どころが盛りだくさんで、観光客に人気のエリアだ。

しかし、最近はその隣のトンローがホットプレイスとして注目を集めているという。トンローは、タイのお金持ちや外国人が入居するマンションや、コンドミニウム、旅行者のためのサービスアパートが建ち並ぶセレブなエリア。近年は、おしゃれなタイ料理レストラン、カフェ、バーなどが一堂に会すグルメスポットとしても人気を集めている。アート感覚あふれるインテリアの中で、一流シェフによる料理がいただけるとあって、地元のセレブたちが足しげく通うという。このほか、高級ブティックやウェディングショップ、ビューティショップなどもある。カオサンロードとは180度違う雰囲気なので、一度訪れてみよう。

行き方 BTS トンロー(Thong Lo)駅3番出口を出て、スクンビット通りに沿って50メートル程歩くと右手にトンローストリートが見える。見どころは、ストリートの左側より右側の通りに多い。100メートル程歩くと、韓国料理と和食の両方が食べられるレストラン「SEOUL」がある。そこからトンロー警察署まで約1キロ歩くと、トンローエリアを70%程歩いたことになる。トンロー警察署前の横断歩道を左に渡ったり、再び道に従ってトンローを散策しよう。ゆっくり歩くと半日はかかるので、十分時間がある時に訪れたい。



It's New Thong Lo Road Brunch Collection 7



01 タイ料理専門店 世華 SEE FAH



タイ全域で約20店舗を展開しており、「ベストローストダック賞」を受賞したこともある、伝統タイ料理レストラン。メニューにはタイ語と一緒に英語が併記されており、写真もついているので、注文しやすい。アピタイザーのほか、ライス、ヌードル、メイン料理など、種類は豊富で、味にも定評がある。リーズナブルに食事をすませたいなら、セットメニューがおすすめ。店内はホワイトカラーを基調としていて、おしゃれな雰囲気。

住所 90 Fifty Fifth Bldg., Soi Thonglor 2, Sukhumvit 55 Rd 電話 02-390-2721 営業時間 10:00~22:00 価格 3コース420/パーツ、お弁当セット195セット



02 屋台ヌードル ロスニーヨム ros niyom

バンコクは屋台天国だが、言葉の問題や衛生面から、屋台での食事を躊躇する旅行者も多いはず。ローカルフードは食べたいが、屋台はちょっと、という旅行者におすすめしたいのがこの店。チキン、豚肉、海老入りなど、タイヌードルのメニューだけでも30種類を越える。

価格もほとんどの料理が99/パーツと、かなりリーズナブル。野外テラスもあるので、トンローストリートを行きかう人々を観察しながら、食事をするのもいいだろう。1品の量は少な目なので、数人で行く場合は3-4品注文してシェアするのがおすすめ。

住所 Soi Thong Lo 2, Soi 55, Sukhumvit Rd 電話: 02-381-1524 営業時間 10:00~22:00



03 イタリアンランチビュッフェ

ベッコフィーノ Beccofino

かつて東京のエノテカ・ピンクオーリで腕を振るっていた名シェフがバンコクで開いたイタリアンレストラン。美味しいイタリアンを気軽に味わって欲しいと、旬の素材をふんだんに使ったメニューが多いながらも、値段

がリーズナブル。木製オープンで焼き上げるといってピザが人気だが、あれもこれも味わいたい人は、ランチビュッフェがおすすめ。地元客から観光客まで多くの人々が訪れ、いつも込み合っているため、予約は必須!

住所 146 Thonglo 4, Sukhumvit 55 電話 02-392-1881~2 営業時間 ブランチタイム11:30~14:30 ホームページ www.beccofino.co.th

04 トレンディータイ料理 ドーンデンダーイ DOONG DENG DAI



タイの人気芸能人が自身の名を看板に掲げて、オープンしたレストラン。専門はタイヌードルだが、オーストラリア産牛肉を使った料理や、タイ式豚肉料理、串料理、スイーツも美味しいので、あれもこれも食べたい時に行くのがおすすめ。室内席のほかエアコンがきいたテラス席もある。店員が親切なのもうれしい。

住所 Siam Future Town Center Thonglor Soi 4 Soi Sukhumvit 55 電話 02-392-1417 営業時間 10:00~22:00 価格 タイヌードル60~80/パーツ、オーストラリア産牛肉料理135~210/パーツ、スイーツ45~70/パーツ

05 フード&スイーツカフェ アイベリー iberry



バンコク市内のおしゃれスポットに必ずあるアイスクリームカフェ、アイベリー。タイのフルーツをふんだんに使ったアイスクリームの品揃えが豊富で、タイ人はもとより、バンコクを訪れる旅行者にも人気。エントランスを左に行くと、ブランチレストラン、右側がスイーツカフェになっている。ランチはベジタリアンのためのメニューもあるので、ヘルシーな食事をしたい人はチェックしてみよう。カフェでは、ケーキやコーヒー、トロピカルフルーツジュース、ホームメイドアイスクリームなどが楽しめる。また、イタリアンティラミス、日本のハーブアイス、アメリカのクッキーアンドクリームなど、各国のスイーツも堪能できる。値段も60/パーツからとリーズナブルなので、学生から年配まで幅広い層に人気。

場所 トンロータウン中央に位置 電話 02-381-3274 営業時間 月~木曜日10:30~23:00・土曜日10:30~24:00 ホームページ www.iberryhomemade.com

06 南タイのグルメ プークットタウン PHUKET TOWN



アンティークテーブルや雑貨がセンスよく並べられており、タイ伝統の雰囲気を感じられる、南タイ料理レストラン。こじんまりした店で、マニアを中心に人気を博している。南地方の料理は、香りが強く、ソースが辛いのが特徴。タイ料理が好きなら、口に合うはずなので、ぜひ一度挑戦してみよう。オーナー、スタッフともに英語が流暢。料理の説明も丁寧してくれるので、オーダーに迷ったらアドバイスをもらおう。

住所 160/8 Soi Thong-lor 6, Sukumvit 55 rd 電話 02-714-9402 営業時間 10:30~22:00

07 シングネチャーランチ メロウ MELLOW



おしゃれな雰囲気の中で美味しいランチを食べたいなら、ここがおすすめ。ジャズやアートをこよなく愛するオーナーの趣味がたっぷり詰まった店内になっており、各種メディアでもたびたび取り上げられている。ランチセットは明太子やイカ墨を使ったパスタをはじめ、肉料理、魚料理など、バリエーション豊富。定期的にミュージシャンを招いて、ジャズ公演を行っている。

住所 Penny's Balcony Unit 1,2,3 522/3 Thonglor 16 電話 02-382-0065 営業時間 11:00~01:00





自転車の上から見る風景

Round to the World!

自転車旅行のように体力を要する旅は、好き嫌いが分かれる。自転車で何日も旅をしようと思えば、相当な準備をしなければならず、確かに大変だ。しかし、目を閉じて想像してみてほしい。美しい海と空、きらきらと光る広大な平野を、眺めながら走る姿を。耳元に心地よい風がかすめる瞬間、たっぷり汗を流した後にのどを潤す瞬間を。大変な旅は、その分だけ魅力も備えているということだ。





一瞬一瞬がすべて 思い出になる自転車旅行

「自転車をこいでいると、目の前の道が体の中を流れていくような気分になる」。自転車マニアとして知られる小説家キム・フンのエッセイ<自転車旅行>に出てくる一文だ。地方都市で自転車をレンタルし、3、4時間程サイクリングした経験しかない私でさえも、自転車旅行の醍醐味をよくぞ言葉にしてくれたと、感じる一文である。旅の手段である「道」と「移動時間」も旅の一部だということ、移動という行為をおろそかにせず、それすらも楽しもうということを伝えているのだ。目的地をめざして走り、途中、気になる風景や人に出会ったら、いつでも立ち止まることができるのが、自転車旅行のいいところだ。

車で走ると見逃しがちな風景も、自転車の上からだ目と前をゆっくり流れ、そのすべてが大切な思い出となる。時間はかかるが、その分、旅は豊かさを増す。忙しい人生に本当に必要なのは、こうした時間と気持ちの余裕なのかもしれない。現在、自然環境を守ろうと、世界のあちこちにサイクリングロードが造られており、自転車旅行がブームになりつつあるが、実際に自転車旅行をする人の数はまだそれほど多くない。自転車旅行はつらい、ルートを組むのが難しい、サイクリングロードが整備されていない、などの偏見があるからかもしれない。自転車旅行をしてみたいという気持ちはあるが、どこへ行ったらいいのかよく分からないという人も多いだろう。そんな人たちのために、初心者でも楽しめるアジア5ヶ所のおすすめ自転車旅行地を集めてみた。自転車旅行、これでいつでも出発できるはずだ。

用意するもの



- ✦ 自転車 どんな道も走れる丈夫なフレームと太い車輪を持った自転車が好ましい。自分の体に合ったものがあるので、店で試乗してから購入しよう。移動の際は前輪、後輪、ハンドル、ペダル、サドルなどのパーツを分離し、ハードケースの自転車用キャリーバッグに入れて持ち運ぶと破損する心配がない
- ✦ ヘルメット どんな事故が起きても頭を保護できるようにヘルメットは必ず準備しよう。夏場のサイクリングには、めまい防止のために、風通しが良く軽いヘルメットを選ぶこと
- ✦ ゴーグル 風や虫から目を保護するための必須用品
- ✦ 前照灯と後尾灯 夜間ライティングの際の事故防止になるので、前照灯と後尾灯は必ず準備しよう
- ✦ 水 体内温度が上がると脱水症状を起こす危険がある。このような場合は、イオン水よりも水を飲むほうが良い。炭酸飲料は禁物
- ✦ 日焼け止めクリーム 紫外線から肌を守るために日焼け止めクリームはしっかり塗っておこう
- ✦ 身分証明書 万一、事故が起きた場合に備えて、身分証明書や血液型、緊急連絡先などを明記したものを携帯しておこう



THAILAND

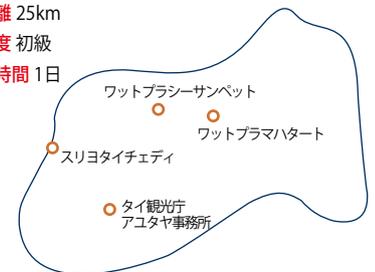


タイの遺産に出会う道 アユタヤ Ayutthaya

14世紀、当時のタイを統治していたシャム王国は、現在のバンコクからそう離れていない都市、アユタヤに首都を置いた。以後、18世紀まで、経済的、文化的に全盛期を築いたアユタヤ。アジアで最も豊かな都市だったことから、侵略と略奪が繰り返され、多くの建物が破壊されたが、300年余りの時が流れた今でも、多くの人々の願いが渦巻く美しい寺、威風堂々とした姿で首都を防衛してきた城壁、王が暮らしていた宮殿といった繁栄の跡がうかがえる。

アユタヤは、サイクリング専用ロードが整備されているわけではないが、都市全体が平たんな地形をしているので、そこかしこで自転車旅行をしている人を見かける。

- 総距離 25km
- 難易度 初級
- 所要時間 1日



☑ Don't Miss Here!

ワット・マハーアート Wat Phra Mahathat

1380年代の都の中心寺院で、ラーメースワン王の時に完成した。アユタヤに残るブロン（クメール様式の仏塔）のうち、最初に造られたことが分かっており、まん中のブロンは高さが50メートルにもおよんだという。今はほとんど破損してしまったが、森のあちこちにブロンや仏堂の跡が残っている。1950年代、復元作業が行われた際には、塔があった場所からたくさんの金仏像と宝箱が出てきたという。

ワット・プラシーサンペット Wat Phra Si Sanphet

アユタヤに残る寺院の中で、最大規模を誇る美しい寺院。寺の中央部にスリランカ建築の影響を受けた白い3つの仏塔が残っており、歴代の王の遺骨や衣服、仏像を入れた箱の中に埋まっているという。


TAIWAN

- 総距離 174km
- 難易度 初級
- 所要時間 1日


閑静な海岸道路の魅力 台東 Taidung

ヤシの木がそびえ、青い海が広がる台東は、ゆったりとした時間が流れる静かな町なので、のんびりした悠悠自適の自転車旅行が楽しめる。台東から花蓮までは、片方に深い山、もう片方に青い海が見える花東海岸道路が続いている。自転車天国、台湾だけあり、海岸道路に沿ってサイクリングロードもきちんと整備されているので、自転車旅行も快適。


 Don't Miss Here!
三仙台

沖合に3つの大岩礁がある三仙台は、呂洞賓、何仙姑、李鉄拐の三仙人がこの岩で休んだという伝説がある場所。たくさんの石が敷き詰められた浜辺は、波が押し寄せると、海と石の輝きが交わり、大変美しい光景となる。干潮時は歩いて三仙台まで行くことができる。

八仙洞

地殻が上昇する過程で海水の浸食を受けて形成された石器時代の遺跡で、大小さまざまな洞窟がある。洞窟には、台湾の人々が信仰している神々を刻んだ彫刻が祭ってある。景色が良く、昔から神仙たちが戯れた場所だとの言い伝えがあり、現在も拝みに来る信者が多い。

Editor's Comment

全域にわたってサイクリングロードがきちんと整備されている台湾は、サイクリング天国そのもの。政府が運営する自転車旅行者専用サイトがあり、全国のサイクリングロードと、台湾自転車旅行に関する情報が入手できる。

ホームページ www.bike2taiwan.net


JAPAN


- 総距離 20.4km
- 難易度 初級
- 所要時間 1日

ウォーキングロードがある町
鹿児島 Kagoshima

鹿児島には、済州島のオルレギルを手本にして造成した九州オルレギルがある。九州の雄大な緑や温泉、固有の文化、歴史などを思う存分楽しむことができるトレッキングコースで、現在、コースは8つある。日本人よりも韓国客のほうが多いという九州オルレは、近年、サイクリングを楽しむ人が増えているという。現地でもサイクリング旅行を積極的に推奨しているというから、日本自転車旅行をしたい人はぜひ訪れてみよう。

 Don't Miss Here!
JR西大山駅

日本最南端の西大山駅は、目の前に開聞岳がそびえる無人駅。駅のプラットフォームには、観光客のために「旅の思い出ノート」や、幸せを運ぶ黄色いポストが置かれている。駅前の観光案内所では自転車がレンタルできるほか、JR最南端駅への到達証明書も販売している。

長崎鼻

薩摩半島の最南端にある岬で、西方には、端正な山容で知られる開聞岳がそびえ、東には竜宮伝説の由来となった岩礁が見える。岩礁の真ん中には穴があいており、竜宮城の入り口だという伝説もある。

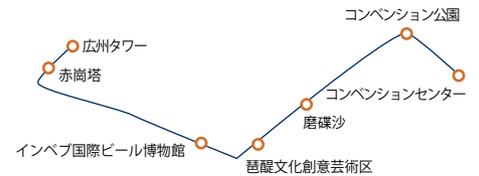


 CHINA

建築・文化・芸術が宿ったグリーンロード 広州 Guangzhou

広州といえば、華やかな高層ビルが林立する中国最大の貿易都市というイメージがあり、この街の美しい自然についてはあまり知られていない。しかし、広州は年中温帯気候であるため、豊かな自然を持つほか、交易、グルメ、文化、芸術などでも素晴らしい発展を遂げた。現代都市と亜熱帯のさわやかなグリーンロードが交わる中をサイクリングしてみると、広州の魅力がよくわかるだろう。まずは、広州のランドマークである広州タワーから、巡ってみよう。

- ● 総距離 30km
- ● 難易度 初級
- ● 所要時間 1日


 **Don't Miss Here!**
広州タワー Canton Tower

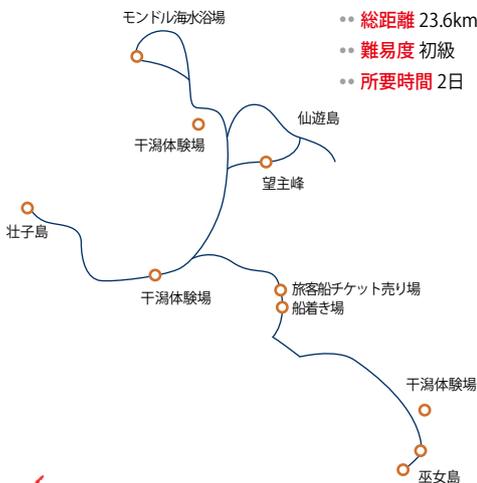
海心沙市民広場と珠江新都市の川向こうに高くそびえるのが広州のランドマーク、広州タワー。高さは610メートルで、双曲面構造になっているため、見た目にリズム感を与える建造物だ。展望台から見渡す都市の眺望が素晴らしい。

インベブ国際ビール博物館

広州のビールメーカーである珠江と、ベルギービールメーカーのアンハイザー・ブッシュ・インベブが共同でつくった博物館で、5000年のビールの歴史が一目でわかる。酒に酔った時のふらつき経験ができる酔酒通路など、体験コーナーがあるほか、見学プログラムも実施中。

Editor's Comment

昔から世界的な港湾都市であった広州には、様々な国や地域の料理が流入してきたという。そして融合、改良を繰り返して、完成したのが今日の広東料理だ。広州に来たからには、中国4大料理にも数えられている広東料理をぜひ味わおう。サイクリングコースの近くにもレストランがたくさんある。

 KOREA

魅力いっぱい島のサイクリング 群山 Gusan

「自転車都市、群山」を自称する全羅北道群山市は、韓国の中で最もサイクリングがさかんなところ。町中には30か所ものサイクリングコースがあるほか、自転車旅行専用サイトも運営している。仙遊島という小島を中心に壮子島、大長島、巫女島を結ぶ橋が渡っており、そこをサイクリングすることができる。コースはいくつかあるが、どのコースを選択してもきれいな海が見えて、走りがいがある。島の人以外は車の乗り入れが制限されているので、安全。

Editor's Comment

仙遊島船着き場をスタート地点にして、大長島方面、モンドル海水浴場方面、巫女島方面の3つのサイクリングコースがある。島へは船で入らなければならないので、日帰りよりも、1泊2日で行くのがおすすめ。仙遊島船着き場近くに民宿があり、宿泊客には自転車を安く貸してくれる。

 **Don't Miss Here!**
望主峰

仙遊島船着き場に降りると、巨大な2つの岩山、望主峰が目飛び込んでくる。望主峰は、かつて奸臣の謀略で島流しにあった臣下が、毎日のように岩山に登って都の方を眺めていたことから、その名がついたと言われている。雨が降る日は、臣下が悲しみにくれて泣いているかのように、岩山から七幹の滝が流れる。

干潟体験

仙遊島海水浴場の両端の干潟は、アサリやシジミ、イソガニ、スナガニ、マテ貝などが棲む生物の宝庫。干潮時、干潟に塩をふっておくと、マテ貝が顔を出すので、半分ほど上がってきたところで捕まるとよい。捕獲したものはその場で調理して食べることもできる。子どもも大人も自然にふれあういい機会なので、家族連れで訪れたい。

12 December 2013

Festival Calendar



インドネシア・ジャカルタ
11月末~12月初め(10日間)
ジャカルタ国際映画祭
場所 ジャカルタ全域

東南アジア最大の映画祭である、ジャカルタ国際映画祭。非営利団体のジャカルタ映画関係者社団協会が運営しており、毎年約6万人もの観客が訪れる人気のイベントだ。インドネシア出身の映画製作者ジャンティ・ハルマイとナターチャ・デピロスが、1988年に立ち上げた映画祭で、今年で15回目を迎える。映画祭期間中は、ジャカルタのみならず、地方都市でも世界中の独立映画が鑑賞できる。また、映画上映だけでなく、インドネシア映画関係者によるワークショップも開かれる。



マレーシア
11月16日~1月5日
マレーシアイヤーエンドセール祭り
場所 マレーシア全域

イヤーエンドセール祭りとは、毎年11月中旬から翌年1月初めまで開催される、マレーシア3大セールのひとつ。この期間中、マレーシアのローカルブランドから海外有名ブランドにいたるまで、様々な商品が市内のあちこちで特価販売される。1年に2回の有名ブランドセールと重なっているほか、現地では購買量の少ない冬のアイテムを狙うチャンスでもあるので、買い物好きにとっては見逃せない期間だ。ファッションのほか、コスメ、ジュエリー、事務用品、IT製品の一部も免税価格で購入できるので、ぜひこの機会に出掛けたい。



日本・長崎
12月22日~12月25日
グラバー園ウインターフェスティバル2013 場所 長崎グラバー園

グラバー園は、スコットランド出身の商人である、トーマス・ブレイク・グラバーの邸宅をはじめ、国家指定重要文化財や洋式建築物などが見学できる、長崎を代表する観光名所だ。クリスマスシーズンになると、来園者がキャンドルに願い事を書きこみ、火を灯してハート型に並べる、ハートキャンドルイベントが行われ、カップルに人気を呼んでいる。また、グラバー園といえば、長崎の街が一望できることでも有名なので、ぜひ景色を楽しもう。クリスマス当日は様々なイベントが開催され、営業時間が夜9時まで延長される。



韓国・浦項
12月31日~1月1日
第16回虎尾串韓民族日の出祭り
場所 浦項市虎尾串日の出広場

今年で16回目を迎える虎尾串韓民族日の出祭りは、韓国を代表する日の出の名所、虎尾串で開催される一大イベント。かつて金正浩先生が、大東輿地図を作るにあたって、7回にわたって虎尾串を現地調査した際、韓半島で最初に日の出が拝める場所だと述べた場所だ。現在は、初日の出を見ようと、年末から年始にかけて、多くの人々が訪れるスポットになっている。また、虎尾串日の出公園は、巨大な手のオブジェ「共生の手」があることでも有名。造形物の向こうから真っ赤な日の出が昇る様子は、一幅の絵画のような美しさなので、ぜひ鑑賞してみよう。今年は市民や観光客参加型の様々な体験行事も準備されている。



韓国・江陵
12月31日~1月1日
鏡浦日の出祭り
場所 鏡浦海岸

正東津、東草、蔚山などと共に、東海岸の日の出の名所として知られる江陵鏡浦。毎年12月31日になると、初日の出を見ようと、全国各地から多くの人々が押し寄せるスポットだ。今年も12月31日に、花火やカウントダウンイベントが行われるほか、元旦には、初日の出鑑賞や新年祝賀イベントなど、多彩な催しが開かれる予定だ。



韓国・釜山
12月31日~1月1日
2014年の出釜山祭り
場所 龍頭山公園、海雲台海水浴場一帯

巳年の2013年が終わり、午年の2014年が明けると、釜山の龍頭山公園と海雲台海水浴場では、日の出釜山祭りが開催される。1999年にスタートし、十数年にわたって行われてきた本イベントは、釜山を代表する冬祭りとして多くの人に親しまれている。12月31日の夜は、龍頭山公園で除夜の鐘を撞くなどの各種イベントが開かれ、年が明けた翌1日の午前中には、海雲台海水浴場で、公演や希望の風船飛ばしなどの各種日の出祝賀イベントが行われる。

01,02 January, February 2014



日本・福岡

1月3日

管崎宮玉取祭

場所 福岡県東区

日本三大八幡宮の一つで、国の重要文化財でもある筑前一宮の管崎宮。毎年1月3日に行われる玉取祭は、玉せせりとも呼ばれ、氏子達が集団で玉を競って一年間の吉凶を占うという正月行事だ。玉は陰陽2つあり、小さいほうの陽玉を200名の男性が奪い合う。この際、男性は陸組と浜組に分かれ、玉を神官に渡したのが陸組なら、その年は豊作、浜組なら大漁といわれ、両組激しい争奪がくり広げられる。



1月中旬~2月中旬

タイプーサムヒンドゥー教祭り

マレーシア全域で開かれる懺悔と贖罪のヒンドゥー教祭り、タイプーサム(Thaipusam)。タイプーサムとは、神聖な1ヶ月を意味する「タイ」と十五夜を意味する「プーサム」の合成語で、ヒンドゥーの神「ムルガン(Murugan)」を崇拝する祭りだ。タイプーサムは三日間かけて行われ、初日は寺院に花を飾り、二日目は各地域の寺院まで牛が引く花馬車にスブラマニウム(Subramaniam)像をのせ、信者がその後をついていくという儀式が行われる。祭りのハイライトである三日目には、信者がカバディ(Kavadi)と呼ばれる華やかな儀式用具を持って、呪文とドラムの音に合わせて、ヒンドゥー寺院を参拝する。この際、数百人の信者が、体や頬、舌などに1メートルほどの長さの太い釘を刺したり、鋭い鉤で背中や胸などにピアッシングをしたりするなどの苦行をする。なお、こうした苦行は、1年間の罪贖をし、祝福を祈る儀式だ。



インドネシア・ジャカルタ

2月14日~2月17日

2014インドネシアファッションウィーク

場所 ジャカルタコンベンションセンター

ファッションの最新トレンドを紹介する「インドネシアファッションウィーク」が、ジャカルタの中心部に位置するジャカルタコンベンションセンターで開催される。約500のファッションブランドと約200人のデザイナーが参加する本イベントでは、ファッションショーをはじめ、展示会、トークショー、セミナー、ファッションコンテストなど、様々な催しが開かれる。主催はインドネシアファッションデザイナー協会で、インドネシア観光創造経済部が後援している。世界トップのデザイナーたちが、華やかなファッションショーを披露するほか、新進デザイナーも斬新なパフォーマンスを繰り広げるので、機会があればぜひ鑑賞しよう。



韓国・光州

2月14日

第32回コサウムノリ祭り

場所 光州市南区コサウムノリテーマパーク

光州市南区漆石洞漆石村では、毎年、陰暦1月1日と新年最初の満月である旧暦1月15日に、コサウムノリが開かれる。コサウムノリとは、韓国の伝統的な綱引きで、「コ」と呼ばれる輪を持ち、騎馬戦のようにぶつかり合った後、東の雄綱と西の雌綱を結合させて引き合うという闘志あふれるもの。湖南地方を代表する民俗遊びで、1970年に国家指定重要無形文化財第33号に指定された。コサウムノリのほかに、羽根を蹴って遊ぶチェギチャギや、壺の中を目掛けて矢を投げるトゥホノリといった各種民俗遊び体験、家族で参加できる農業遊び、凧揚げなども楽しめる。



韓国・仁川

12月末~2月末

江華ワカサギ祭り

場所 江華島黄清釣り場一帯

江華島の中でも特に自然が美しいことで知られるトクサンとクスサンに囲まれた黄清貯水池で、毎年冬になるとワカサギ祭りが開催される。イベント期間中は、ワカサギ釣りのほかに、ワカサギつみ大会、氷ソリ、氷馬車、韓国の伝統遊びチェギチャギなども楽しむことができるため、家族連れに人気。入場料は1人5000ウォン。結氷状態により運営日時が変更になることもある。



チャイニーズタイワン・台中

2月14日~2月23日

2014台湾提灯祭り

場所 南投県中興新村

台湾提灯祭りは、陰暦1月15日の元宵節(小正月)に開かれる世界的な祭り。25回目を迎える今年は、2月14日から23日まで、台中郊外の南投県中興新村で開催される。アメリカのケーブルテレビ、ディスカバリーチャンネルの「Fantastic Festivals of the world」というプログラムで、世界最高の祭りとして取り上げたこともあるほどで、毎年国内外から10万人以上の旅行者が訪れる。なお、期間中は、その年の十二支神の形をした提灯をはじめとする色々な展示や公演を鑑賞することができる。一方、元宵節中は、台湾提灯祭りのほかにも、平溪の天燈、台東炸寒單、台北提灯祭り、祠堂の伝統祭礼儀式といった伝統小正月祭りが開催される。



韓国・大田

第6回TPO総会が盛況のうちに終了

9月4日から7日までの4日間、大田にて「第6回TPO総会」が開催された。国内外36会員都市が参加した本総会は、会議のほかに、講演会や集いなども開かれるなど、盛りだくさんの内容となった。会議では、共同事業を選定したほか、2014年のTPOフォーラム開催地をマレーシアのコタキナバルにすることを決定した。また、2015年の第7回TPO総会開催都市を中国三亜市に、会長都市を広州市に、共同会長都市を釜山広域市にすることで合意した。市長円卓会議では、会員都市間交流を拡大していくことや、フェスティバルの招請、観光分野青年インターン事業を進めていくことで一致したほか、地域別実務担当者会議では、TPO発展案と改善点、会員都市間交流方法などに関する具体的な方案を議論した。また、今回、新たに中国鄭州市と張家界市がTPO会員都市として承認され、この2都市を含む参加者が「大田宣言文(Daejeon Declaration)」に署名、本総会で議論された事項を共同推進することを約束した。期間中は、「TPO大田国際観光展」も初開催され、TPO会員をはじめ、国内外観光業者64機関、約5800名が参加した。TPO大田国際観光展には、韓国観光公社や韓国の大手旅行社ハナツアーなどの実務陣が、観光分野就職情報などを提供したほか、ソウルと大田のホテルや旅行会社も現場採用を行うなどして、注目を集めた。



中国・煙台市

上海に観光マーケティングセンターを設立

去る9月9日、上海に煙台観光上海マーケティングセンターが設立され、館内の張裕ワイン鑑定センターにて、煙台市観光説明会が行われた。煙台市は、世界的なブドウの生産地であり、近年注目を集めている中国ワインのふるさととして知られる町だ。また、山、海、川、湖が美しく、四季を通して自然が楽しめるほか、ゴルフや登山といったレジャーや、温泉、ワインなど、様々なテーマで観光ができる町としても有名。今回、観光説明会が行われた張裕ワイン鑑定センターは、煙台市の観光イメージをLED展示しているほか、ワインやりんごといった煙台市の特産物の展示・販売も行っている。なお、張裕ワイン鑑定センターを建てた張裕グループは、120年の歴史を誇る中国の有名ワインブランドだ。

2013年TPOベストアワード受賞者発表

去る9月に開かれた第6回TPO総会にて、「2013年TPOベストアワード」が開催された。会員都市を対象に、観光産業分野の優秀活動都市を選定し、賞を与えるというもので、今年は7項目合計9都市が受賞した。ベストマーケティングキャンペーン部門には、台湾の台南市が、ベスト印刷広告部門には、マレーシアのパナン市が選ばれた。また、ベストフェスティバル・イベント部門には、韓国の昌原市と、マレーシアのコタキナバルが、ベスト都市観光経営者部門には、韓国の益山市が、ベスト広報パンフレット部門には、韓国の釜山広域市、中区庁、仁川広域市がそれぞれ選定された。このほか、ベストウェブサイト部門には、インドネシアのジャカルタが、ベスト広報キャンペーン部門には、ジョクジャカルタが優秀会員都市として選ばれた。また、TPO 10周年功労賞授賞式も同時開催され、受賞者には、福岡市、広州市旅遊局イ・ジシン副局長、チュ・ファンミョンTPO事務総長、全州韓スタイル観光課チョ・ヨンホ係長、CITS Guangdong Co., Ltdが選ばれた。



ベトナム・ホーチミン

「2013年ロシア文化の日」を開催

11月11日から17日までの7日間、ベトナムのハノイ、ホーチミン、ビンズオン省で「2013年ロシア文化の日」が開催された。12日にはハノイのオペラハウスで盛大な開幕式が、15日と16日にはホーチミン、ビンズオン省でロシア芸術公演プログラムが、それぞれ催された。中でも、ロシア劇団による芸術公演をはじめ、写真展、映画上映などのイベントには、多くの観客が訪れ、好評を得た。本イベントは、来年の2015年まで行われるベトナムロシア間文化協力プログラムの一環として、ベトナム文化体育観光部とロシア文化観光部が合同で開催したものだ。なお、ベトナムロシア文化協力プログラムとは、両国が互いの文化を理解し、文化観光分野で相互協力していくというもの。これにより、近頃ベトナムはロシアを主観光送出国とした。また、ベトナム国立観光部の統計によると、今年1月から7月までに、ベトナムを訪問したロシア観光客は、前年対比57.4%増の17万人に達したと発表した。



マレーシア・ペナン島

ペナン市長が釜山と金海を訪問

10月21日から23日までの3日間、マレーシア・ペナンのパタヒヤ・ビンチ・イスマイル (Patahiyah Binti Ismail) 市長をはじめとするペナン市訪問団が、釜山広域市と金海市を

訪れた。今回の訪問は、今後のTPO事業計画についての意見交換や、釜山広域市政策のベンチマーキングなど、都市間交流並びに協力を強化していくために設けられたものだ。初日は、国際諮問大使、各部署の実務者らが参加する中、釜山市庁儀典室にて、都市間の観光経営、グリーン計画、環境維持の可能性、安全都市など、様々な分野の情報交換をした。その後、訪問団とTPO事務局は、釜山の海東龍宮寺を訪れ、夜間観光商品のひとつである、ティファニー21号クルーズに乗船。夜間観光を楽しんだパタヒヤ・ビンチ・イスマイル・ペナン市長は、「広安大橋の夜間ライティングが、釜山をより一層魅力的な街にしている」と称賛した。また、22日は釜山中区庁へ行き、2014年TPO事業計画について議論したほか、最終日の23日は、金海市庁を訪問し、ペナンと金海の両都市が、今後、共に観光発展を図っていくことを約束した。

韓国・南海

ドイツ村ビール祭りが大盛況

慶尚南道・南海を代表する祭りとして知られる「ドイツ村ビール祭り」が、10月4、5日の2日間にわたって開催され、大盛況のうちに幕を閉じた。ドイツのビール文化をはじめ、音楽やダンスなど、世界



各地の文化が体験できることから、祭り期間中、南海郡へは、昨年対比55%増の5万人を超える観光客が訪れた。郡の関係者は「ビール祭りが南海に活力を吹き込んだ」と喜び、さらに「ドイツビールのみならず、食欲を誘う様々なビールの肴を用意したことが、ビールの好売上につながり、祭りを成功に導いた」と所感を述べた。

日本・武雄

武雄温泉秋祭り開催

10月22日から23日までの2日間、佐賀県武雄市の楼門と武雄神社周辺で、「武雄温泉秋祭り」が開催された。前夜祭の22日には、1186年から伝わる宵まつり(エイトウ)や、約60チームによる市民綱引き大会が、本祭の23日には、おくんちふれあいバザーやふるまいぜんざい大会、町内の子どもたちによるおみこし、祭りのハイライトである流鏝馬の奉納が、盛大に行なわれた。流鏝馬とは、疾走する馬上から鏝矢を射る儀式で、その歴史は827年にもおよぶ。なお、武雄市は福岡から電車で約1時間の距離にある町で、トレッキングや温泉、歴史散策などが楽しめることから、年間を通して、多くの観光客が訪れるところだ。



韓国・江陵

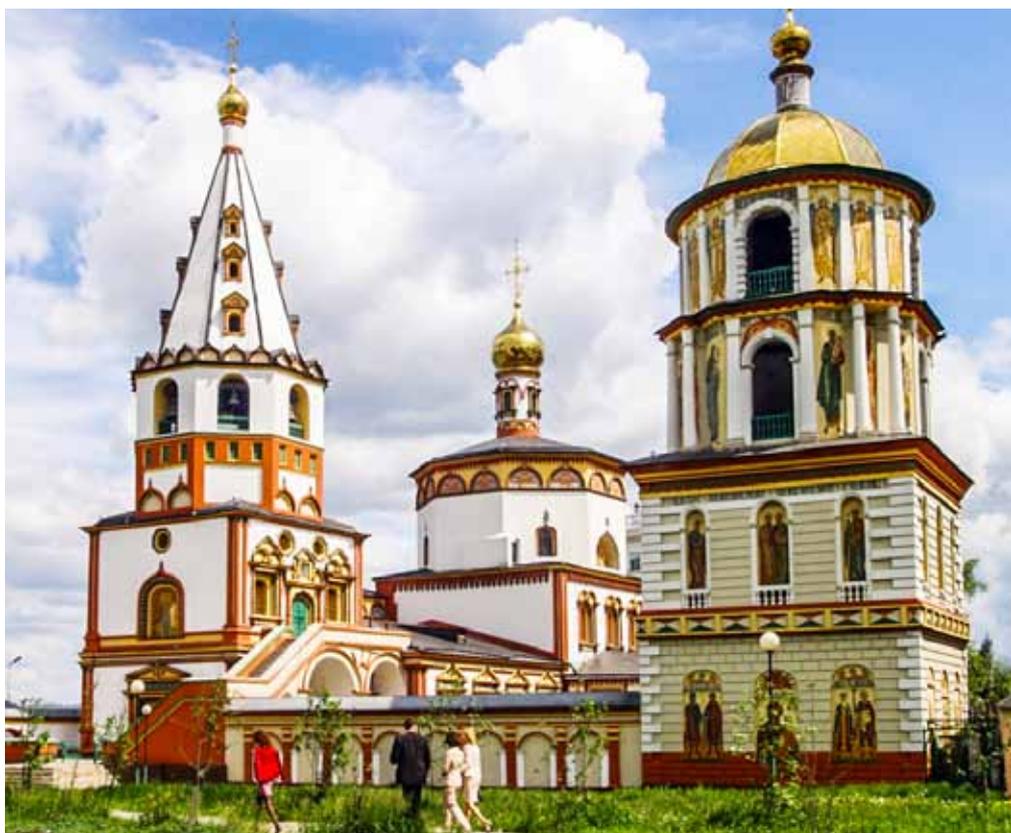
第5回コーヒー祭りが開かれる

10月3日から6日まで4日間、「第5回江陵コーヒー祭り2013」が江陵室内総合体育館と江陵市一帯で開催された。自然が美しいことで知られる江陵は、敏腕バリスタがいるコーヒーショップがたくさんあることでも有名。多くの旅行者がコーヒーを飲みに来るから、2009年に江陵市が文化事業としてコーヒー祭りをスタートさせた。5回目を迎える今年は、30万人が参加し、これまでに増して熱気あふれるイベントとなった。関係者は「祭りの日程を連休にぶつけたことが功を奏し、昨年よりもさらに訪問客を増やすことができた。また、イベント会場を1ヶ所にまとめたことで、訪問客が地域の観光地や行事と一緒に楽しめたことも、今回の成功要因」だとした。なお、祭りに参加したコーヒーメーカー会社が本イベントのために用意した商品は、期間中にすべて完売となり、予約注文も殺到した。



ロシア・イルクーツク Viktor Kondrashov, ヴィクトール・コンドラシェフ市長 歴史と変化、その中心に立つ イルクーツク

ロシアの東シベリアに位置するイルクーツク州の州都、イルクーツク(Irkutsk)。長い歴史と伝統があり、ロシアの中核的な都市として位置づけられているこの街は、近年、経済や観光など、社会全般において、新たな試みを行っている。また、国宝級の価値がある建築物や各種文化空間を多数保有し、シベリア文化の宝庫としても名高いため、「ロシアで最も訪れたい都市10」に選ばれるなど、近頃、世界中の旅行者からも注目を集めている。そんなイルクーツクの観光資源や今後の展望について、市長のヴィクトール・コンドラシェフ氏に話を伺った。



シベリア文化の宝庫として知られるイルクーツクは、どのような街ですか?イルクーツク市の紹介をお願いします

イルクーツクは、もともと貿易と産業におけるシベリア東部の交通の要衝でした。針葉樹林が美しい街で、人口は約60万人にのぼります。

歴史的都市としても名高く、18～19世紀に建てられた木造・石造建造物と、現代化した高層ビルが交わり、1970年には「ロシアで最も美しい都市」にも選ばれました。透彫で精巧に装飾された木造住宅が街のあちこちにあるほか、約700にもおよぶ文化・歴史的重要建築物が建ち並んでおり、このうち、100以上は国宝級価値を持っています。2011年には、イルクーツク市誕生350周年を記念して、ギャラリーや博物館、カフェ、ホテルなどが集まったイルクーツクスロボダ (Irkutsk Sloboda) ストリートを造成しました。プラネタリウムや歴史的遺産もあり、イルクーツク市民並びに世界各国の旅行者から愛される文化空間として今は定着しています。また、近年、イルクーツクは「ロシアで最も訪れたい都市10」に選ばれたほか、旅行客数も着実に増加しています。文化・科学・歴史的伝統を持ちつつ、世界に開かれた街として、また、ロシアの重要都市として、その存在感を示しています。

イルクーツクの必須観光スポットはどこですか？また、市長おすすめの観光地も教えてください

古い木造建物をはじめとする、歴史的価値のある観光スポットが数多く存在するイルクーツクは、2010年に、歴史的都市として、ロシア文化部長官の承認を受けたほか、シベリア木造建築物の首都として、公式に認められました。歴史・文化的価値が優れた建築物が1000を越え、さらにそのうちの約700におよぶ木造住宅が20世紀始めの独特の工法で建てられたものです。都市にある建物のほとんどが木造建物であるほか、シベリアの他地域よりも教会が多いのも特徴です。エルサレムの丘に位置するシベリアバロック様式の建築物、ホーリークロス教会は、立体的な外観をしているほか、幾何学文様によって装飾されており、上段は仏塔によく似た独特の様相をしているので、ぜひご覧になってください。また、イルクーツクは、他の地方都市と異なり、劇場が4つあるほか、フィルハーモニーオルガンホール、デカブリスト博物館団地、茶博物館、アートギャラリーなど、多くの文化施設を保有しているので、こちらも訪ねていただきたいですね。歴史だけでなく、こうして文化的な楽しみ方もできるので、様々な国の方たちがイルクーツクに魅了されるようです。約120カ国以上におよぶ人々がイルクーツクに住んでいるとの統計が出ており、そのほとんどがイルクーツク国立文化自治団体および組織に参加し、自らのアイデンティティや伝統、歴史および文化遺産保存に努めています。観光都市という側面からみると、イルクーツクの最大の魅力は自然ではないでしょうか。アンガラ川に沿って70

キロにおよぶ巨大な針葉樹林(ロシア語で「タイガ」)に囲まれているほか、世界文化遺産であるバイカル湖もあります。バイカル湖は、世界で最も深くてきれいな湖として知られ、南北長が約600キロ、周囲長は約2000キロにもなります。バイカル湖を訪れたら、木造建築博物館「タリツィ(Taltsy)」と、バイカル博物館にもぜひ足を運んでください。このほか、イルクーツクは神秘的な峡谷と美しい湾を有し、釣りや狩猟、スケート、スキー、ウォーキング、乗馬などを楽しむにも最適地です。東部シベリア鉄道に乗ると、これらすべてを車窓から楽しむことができます。



TPO会員になり、どのような変化がありましたか？TPO行事や活動への参加は都市観光産業の活性化に役立ちましたか？

TPO会員都市間の情報交換や、イルクーツク市議行事の広報をする機会が増えるなど、TPOを通じて得たものがたくさんあります。また、「Tourism Universiade 2013」には、イルクーツク言語大学(Irkutsk State Linguistic University)の学生たちが参加しました。今後も引き続き、コミュニケーションと協力をしてまいりたいと考えています。そして、いつかイルクーツクでも、行事が開催できればと思っております。イルクーツクは、観光を専攻した市民がたくさんいるので、これを積極的に活用し、組織化して、TPOと共同プログラムを作っていきたいです。

イルクーツクの今後の発展について、また、未来のビジョンについてお聞かせください

イルクーツクは、市民が住みやすい街、投資家や旅行者が魅力を感じる都市を目指しています。そして、革新的な技術とシベリア特有の古風な雰囲気が交わった躍動的な都市として発展させていく所存です。2012年には、長らく議論されていた、2025年までのイルクーツク市社会経済発展戦略が採択されたので、今後の動向にぜひ注目していただきたいです。イルクーツクは、さまざまな職業、年齢、社会的地位の人たちみんなが満足できる都市になるよう、市民が自発的に都市運営に参加し、市の発展のために力を合わせていかなければなりません。

最後にTPO会員都市関係者に一言お願いします

アジア太平洋都市観光振興機構のさらなる発展を心よりお祈りいたします。今後、会員都市間の共同プロジェクトに、イルクーツクも参加し、共同ネットワークを構築していければと思っております。

観光産業活性化のために、どのような活動および努力をしておられますか？

主要観光関連企業の観光展誘致やナビゲーションシステム開発などに、市が総力をあげて取り組んでいます。また、ここ数年、イルクーツクでは、バイカル経済フォーラムや地域会議、国際展示、会議、ワークショップを開催するなどして、観光産業、観光経済活動成長のために努力してきました。このほか、観光事業は、無限の可能性がある分野だと考え、旅行や経由でイルクーツクを訪れる人々に長期滞在



してもらおうと、観光客の滞留期間延長を実施しました。

今年と来年、イルクーツクで開催される行事やイベントを教えてください

毎年、イルクーツクでは、多くのイベントやフェスティバル、競演大会、スポーツ行事などを開催しており、海外からもたくさんの参加者や旅行者がイルクーツクを訪問してくださっています。2014年には「2014

Bandy World」や国際クラシック音楽フェスティバル「Stars on Baikal」をはじめ、「イルクーツク歴史探訪」といったプログラムを開催する予定です。